

SMMグループのリスクと機会

SMMグループでは価値創造を行なううえで、その価値に影響を及ぼすリスクと機会について把握、分類、整理し、中長期の戦略策定への活用やリスクマネジメントシステム (RMS) での取り組みを行なうことによって、企業価値の最大化と持続可能な社会への貢献をより確実に進めることに努めています。

SMMグループのRMS

SMMのRMSで扱うリスクは重大な社会規範や法に抵触する事象、社会や第三者に著しい悪影響を与える事象、当社の社会的信用を著しく失墜させる事象、事業遂行に重大な悪影響を与える事象に特化して抽出、評価したうえで重点的に管理しています。

外部環境・社会課題

環境意識の高まり

- ① 気候変動
- ④ ⑦ 生物多様性

人権意識の高まり

④

金属価格や為替の変動

① ③

情報化社会の進展

②

天然資源の枯渇

- ② ⑤ 新規鉱山開発の高地化、奥地化の進行
- ② ⑤ ⑤ 鉱石の低品位化、難処理化

資源ナショナリズムの高揚

③ ⑤

技術のコモディティ化

⑥ ⑧

リスク

RMSで特定・管理されているリスクのうち、特に重大なリスク

- ① 爆発・火災
- ② 有害物質の漏洩 (大気、水質、土壌)
- ③ 震災
- ④ ダム・暗渠の決壊による鉱さい等の流出
- ⑤ テロ・誘拐・暴動等による被害
- ⑥ 火薬類・毒劇物の盗難
- ⑦ 新型インフルエンザ等パンデミック

経営上のリスク

- ① 金属価格の下落や円高進行に伴う収益の悪化
- ② 鉱山の投資コスト、操業コスト増加
- ③ 課税強化、資源調達リスク増加
- ④ 規制の強化による操業コスト、投資コスト増加
- ⑤ 優良な鉱山をめぐる獲得競争の激化
- ⑥ HPAL技術の優位性低下
- ⑦ 地域住民の反対や行政による開発/操業/拡張の遅延、許認可取り消し
- ⑧ 材料製品価格の下落/競争力低下

機会

経営上の機会

- ① 電気自動車の生産量急増/電池材料としてのニッケル、コバルト需要の高まり
- ② 通信端末需要の増加と多バンド化等の進行 SAWフィルターの需要増/LT・LNの需要増
- ③ 金属価格の下落/資源メジャーの財務毀損と資産組替え・整理の動き
- ④ コンフリクトフリー原料の安定調達ニーズの増加
- ⑤ 低品位鉱からニッケルを資源化するニーズの増加

●=RMSで特定・管理されているリスクのうち、特に重大なリスク
○=主に外部環境に起因するリスク ○=機会

ガバナンス

RMS

CSRマネジメント

ビジネスプロセス

7つの強み

機会とリスクの活用

リスク管理に基づく責任ある操業

強みによってリスクを低減または機会に

強みによって機会を活かす

戦略のPDCA

それぞれのリスクと機会については、重大な環境事故や災害などにつながる可能性があるRMSで管理するリスクおよび、経営上のリスクまたは機会として分類しました。

RMSで管理するリスクについては、その把握・評価、予防・回避措置、事前緩和措置、顕在化時対応を主な管理プロセスとして、責任ある操業の維持継続に努めています。

経営上の機会およびリスクについては、ビジネスプロセスや7つの強みの活用などによって、効果の最大化、リスクの低減または機会への転換に戦略的に取り組んでいます。

また、いずれの活動においても実行にあたっては、CSR側面における妥当性を適切に評価、対応したうえで効果的なガバナンス体制のもとで進められています。

リスクと機会に対する具体的戦略

① ~ ⑦ RMSによるリスク管理 (予防・回避措置、事前緩和措置等) の実施と維持

🔗 リスクマネジメント (P102参照)

① ② ③ コスト競争力の高い鉱山と製錬所の効率的運営と生産性の向上、コストダウンによるコストミニマム化

🔗 コスト競争力の高い製錬所 (P52参照)

② 難処理鉱の対応力強化に向けた技術開発の加速

🔗 資源の有効活用 (P64参照)

④ ⑦ 地域社会との信頼関係、事業精神と目標を共有する従業員

🔗 アクティビティハイライト (P72、75参照)

⑥ HPAL技術の応用により随伴元素であるスカンジウム、クロマイトを回収、商業化することでコスト優位性を維持

🔗 燃料電池用途としてスカンジウムの本格的量産に着手 (P50参照)

⑧ 顧客との良好な関係の継続により製品開発の好循環維持と技術力の強化

🔗 材料事業 (P56参照)

② ⑤ 他社では商業生産が困難なHPAL技術により低品位酸化鉱からニッケルおよびコバルト資源を獲得 (Ni、Co)

① ⑤ 🔗 HPAL技術を用いた低品位ニッケル鉱石の活用 (P52参照)

🔗 資源の有効活用 (P78参照)

③ ⑤ 健全な財務体質、パートナーとの強固な関係に基づく良好な権益獲得の基盤維持

🔗 財務戦略 (P36参照)

🔗 金権益の取得をめざし、専任の事業開発チームを新設 (P46参照)

① ④ ⑤ 資源獲得から材料生産まで一貫したビジネスプロセスの展開による、原料由来の透明性を含む顧客の調達リスクの低減およびサプライヤーとしての優位性の確立

🔗 車載用二次電池正極材の需要急拡大をうけてタガニートHPAL年産3万6千体制へ (P52参照)

🔗 LBMA (P93参照)、EITI (P99参照)

🔗 SMMグループのビジネスプロセス (P22参照)

② 長年にわたり培われた結晶技術 (結晶育成、加工他) の活用による優位性維持と増産対応

🔗 材料事業 (P54参照)

🔗 関連情報 (参照ページ)